

市民活動★パワーアップ研究会 参加者アンケート

◆市民活動★パワーアップ研究会の内容は、あなたの団体の活動や運営に役に立つと思いましたが

はい	9	69.2%
どちらともいえない	2	15.4%
いいえ	1	7.7%
NA	1	7.7%
合計	13	100.0%

その理由をお聞かせください。

理由の概略

はい				
	市民活動★パワーアップ研究会全体		2	12.5%
	進行のスキル	1		
	事例集作成の過程で、考え方などの共有が進むフレーム	1		
	自団体の活動についての気づきや学び		6	37.5%
	研究会での気づきや学び	1		
	他団体からの気づきや学び	3		
	事例集作成を通して自団体を客観視し、どうすればいいか見えてくる	1		
	個人の資質の向上	1		
	事例集を通しての社会的な認知		2	12.5%
	認知、評価された活動として、信頼性が上がる	1		
	具体的な活動内容や連絡先がわかる	1		
	ネットワークの広がりなど		4	25.0%
	他団体との知己、交流、理解	3		
	一緒に考えられた	1		
	どちらでもない		1	6.3%
	ヒントはあったが答えはこれから	1		
	いいえ		1	6.3%
	実践活動の経験が少ないと得る物も少ない	1		

記述

- SPOxT の活動を他の方に知っていただくことができました。また、会議の進め方や資料作成の方法などとても参考になりました。
- ①現在の自主活動上、団体として抱えている課題に対してハッキリ気づくことが出来、今後の展開で方向転換するきっかけをつかめた。
②倉敷市内で活動中の他(多)団体の詳細情報を知ることができ、特に「活動財源の確保」や「新たな活動サポート人材の確保」「年間事業の整理と新企画」について数多くのヒントが得られた。
- ①活動内容を正式に公開できる。
②公式機関により認知された内容なので、信頼性が上がる。
③多くの観点からの内容なので、評価される。
- DVに関する啓発活動とDV被害者支援活動を行っていますが、DV被害者はあらゆる暴力(身体的・経済的・精神的暴力)に長期間さらされています。最大の問題は例外なく心を徹底的に破壊されてしまい、修復が不可能に近い状況に追い込まれるケースが増加しているという点にあります。従ってその支援は秘密裏に行われる特殊性があります。その点では役立ったかと言えばはっきりした答えは出ません。運営面では、スタッフの増員と技能、知識の向上・強化を今後どう展開するか、イメージのアップと浸透方法をどうするか、活動財源の確保の仕方等についてヒントが有ったと思われます。しかし、答えが見つかった訳ではなく、スタッフが心をつ一つにして試行錯誤の中で困難を解決して行くべき課題です。以上の事から、どちらともいえないとさせて頂きました。

- 活動の具体的な内容がわかる
● 市内の活動団体の連絡先がわかる
- 活動事例集の作成(市民公益活動団体へのヒアリング調査)をとおして、ヒアリングされたり、したりしながら、アウトプットして、さらに研究会のメンバーで校正を重ねて修正を加えていくといった活動や作業は、自分の団体の活動にとってもとても意義深いと感じました。自分の団体を客観視し、自分の団体の活動や運営の中身について、他者に理解してもらえるように伝えるにはどうすれば良いかといったことや、自分たちの公益活動の質を高めるにはどうすればいいかといったことが、作業を通して見えてくる上に、第3者も共有できるようなフレームになっていることがとてもありがたく、興味深く関わることができました。心から感謝申し上げます。
- 他団体の活動や考えを参考にします。
自分の団体の活動状況などを沢山の人の知ってもらえる。
- パワーアップ研究会は良く勉強されていました。しかし、実践経験の少ない団体と判断させていただきました。これから10年・20年と続けてみて下さい。一発花火は難しい事では有りません。各種公的資金とか、船舶振興会等の多額の助成を得るのも困難では有りません。現に私は過去に数百万円くらいの助成を受けた経験が有ります。その後に残るものが欲しいのです。活動そのものが目的では無く、活動を通して、感激・感動を得る、またより住みやすい社会にしていくのが目的の中で、集団活動一年生前の方たちと議論しても得るものは少ないと思います。
- 初回のみでの参加で詳しい状況は分かりませんが、個人の資質の向上と言う面から見ても非常に意義のあるきことと思います。参加団体との交流ができれば活動の輪も広がります。
- 他団体の活動を知ることができた上、交流を深められた。
- ・倉敷市内に市民パワーを発揮できる団体や組織を知ることにつながってとてもよかったです。
● 集まるメンバーと倉敷の福祉・生活問題について一緒に考える時間が充実感をくれました。
- それぞれの、団体の特徴、考え方などが理解でき、連携がとりやすくなった。
- 他の団体のうまくいっている点、課題等々を聞き、それらを自分の団体にフィードバックさせることができた(るような気がする)ので。また、テーマが自分のおこなっている活動とは異なる団体にヒアリングをすることで、新たな視点等々を学べたので。

◆あなたにとって【参加した事で得た最大の収穫】はどんな点でしたか？

概略

ネットワークの広がりに関する事		12	57.1%
他団体とのつながり(ネットワーク)が持てた	5		
他団体(仲間)の存在を知った	2		
市民活動のひろがり、市民のパワーが感じられた	2		
他分野の団体とつながりが持てた	1		
新たな流れをつくるプロセスに携われたこと	1		
学識経験者、行政の方と一緒に活動できた	1		
自らの学びに関する事		8	38.1%
意見交換できた。視野が広がった	3		
内容を共有できた	1		
編集力が高まった	1		
取材活動が貴重な体験だった	1		
活動について確認できた	1		
自団体のあり方を考えられた	1		
市民活動★パワーアップ研究会の進め方について		1	4.8%
進め方が大きな学びになった	1		
	21	21	100.0%

記述

- ヒアリングや会議を通じて他の団体とつながりを持てたことです。
- ①各セクターからの有識者メンバーの皆さんや市民公募研究員の方たちと毎回準備されたテーマに対してそれぞれの持つ見解・情報・提案などを意見交換できたこと。その結果、1年間の取り組みの経過を「事務局担当」の多大な努力によって都度「見える化」され共有できたことで、今後の『倉敷エリア(市内 8 地区+周辺エリア)』の多彩な市民活動メンバーの相互理解や市民参加・参

画推進に向けた～市民協働～～官民協働～の新たな流れをつくる「場・プロセス」に一員として携われたこと。

- ①自分の視野が広げられた。
- ②新しいネットワークを作れた。また、ヒントにもなった。
- ③編集力が高まった。
- (1)活動事例集を作成するために推薦した活動団体の取材を通じて、その団体代表者から設立に至る動機や熱い思いを聞く事が出来た事は、刺激的で心に響くものを感じました。
- (2)的確で明瞭簡潔な目標や長期ビジョンが無ければ、活動の維持継続や拡大は図れない事を改めて確認する事が出来ました。
- (3)研究会を通じて様々な活動団体代表者と識者の方々から色々な考え方や意見が多く聞けて世間が広がったような気がしました。
- ・数少ない参加でしたが、参加者とのつながりができた。
- ・市民活動の広がりを感じる事ができた
- 研究会のプロセスにおいて、参加メンバーの意見を尊重したうえで、どうすれば市民活動がパワーアップするのか、とても丁寧に細かく検討する枠組みになっていて感心しました。研究会の後半になって、「もっと、今後、倉敷のまちがよくなるためには、みんなの生活が豊かになるためにはどうすればいいかを具体的に話し合っていきたい。こうした取り組みを今後も継続してほしい」といった意見が複数だされたのを聞いて、参加者で共通認識を深めつつ、共通課題を抽出するにはどんなプロセスを踏めばいいのか、どうアウトプットしてシェアしつつ、情報発信していけばいいかなど、とても大きな学びになりました。膨大な事務作業を短時間でスマートにこなしてくださった事務局のみなさまには本当に脱帽です。
- ・他団体や行政、学識経験者の方々と一緒に活動できたこと。
- ・色々な活動団体がある事を知ることができ、沢山の方と知り合うことができた。
- 想像した通りでした。
- 倉敷市にも理念を共有する個人、団体があることがわかったことです。
- 自分の団体のあり方を考える事ができた点。
- 市民の力を感じたことです。
- 人とのつながりができた。
- 他分野との方との接点があったこと。

◆あなたにとって【もっとしっかり深めたかった】のはどんな点でしたか？

概略

ネットワークや団体間の連携			3	33.3%
	今後のネットワークづくりについての協議	2		
	団体間の連携の可能性	1		
個人の学びや体験			3	33.3%
	もっと参加したかった	2		
	実際の活動への参加体験	1		
事例集			2	22.2%
	活動事例集の団体数	2		
具体的な運営上の問題			1	11.1%
	資金について(各団体の工夫や課題)	1		
合計			9	

記述

- もっと会議に参加して、ワークショップ体験をしたかったです。
- ①参画された各メンバーとの情報交換・意見交換・コミュニケーション。「テーマ」トークやワークという枠組みを超えた各自の意欲や計画・倉敷全体の市民活動活性化に向けたアイデア・コラボ企画につながる取材先団体や参画メンバーの皆さんを交えたフリーディスカッションの場で、そもそも「こ

の企画」からどういうプロセスを経て、今後の展開をどの方向に持っていくことが有意義か？という大事な部分を時間や段取りに急ぎ立てられず 1 回だけでも関係者相互にたっぷり交換して研究会初年度のミッションを終えたかった。

- 実際の活動の中に入って、体験したかったグループもありました。
- 活動事例集で取り上げた団体数が物足りないと感じました。団体の規模別、活動分野別、地域別などできるだけ多くの団体の活動事例集が完成すると市民に対してインパクトのあるものになると思われまます。その事が、それぞれの団体活動を後押しする事につながるのではないのでしょうか。
- ・団体間の連携の可能性
- 市民公益活動団体のヒアリング調査報告、宮原さんの、倉敷ボランティア協会、「スローライフネットワーク岡山」や「放課後児童クラブ連絡協議会」の記事をまとめることができなかつたのは申し訳なかつたです。私自身としても残念でした。自分の団体の課題については、自分たちで方向性や課題を見極め、活動や運営ができていけるようにならないといけないなあ…。と思いました。
- この活動を今後のネットワーク作りや情報交換会や交流会をつくる話し合いができれば良かった。
- 倉敷ボラ協会の今までの活動の事とか聞いてもらえるかと思っていました。
- 参加して、参加団体の活動を理解すると同時にコラボしたかったです。
- 資金について、各団体のコツや課題。
- NA
- NA
- NA

◆市民活動★パワーアップ研究会はあなたにとってどんな場だったかを「ひと言」でいうと？ 概略

人・グループとの出会いの場
つながり・ネットワークが広がる場
意見交換が楽しい場・情報交換の場
視野・発見の場(自分達、他団体の仲間たち)
ふりかえり・リトリート
つくるプロセスを楽しめる場
興味深い場
協働の場

記述

- 発見の場でした。(自分達のこと、他の団体の仲間たち)
- ①自分の所属する複数の「市民活動自主団体」の現状と課題を把握し、改めて見直し今後に向けた方向性や展開を見定めるための『リトリート(棚卸)情報交換』の場。
- パワーアップ研究会は: 視野も広められたし、新しいネットワーク出来たし、いろんな考えを持った人・グループを知ることでもできた道場でした。
- 初めは戸惑いの世界に首を突っ込んでしまったという後悔にも似た感覚が強かつたですし、その後の研究会でも市民活動を体系的に展開していなかつた事もあり、ずいぶん窮屈な思いがありました。不慣れほど落ち着かないものはありません。しかし、終わってみるとけっこう好きなように発言させて頂いたし、自分では思い浮かばないような考え方を他の参加者から聞き、楽しい場だったなあ、と感じています。くらしきパートナーシップ推進ひろばの皆さんと知り合えたことが一番良かったです。すみません、一言ではなくて…
- ・つながり、と振り返りの場でした
- ヒアリング調査・取材、事例集の作成の作業やプロセスが楽しかつたです。また、個人ワークを全体でシェアしつつ、ブラッシュアップしていくのを確認しつつ、事例集ができあがっていくのを見

るのも楽しみでした。

- 市民活動の関わりを通して、多くの素晴らしい人々と知り合えた。
- こんな活動団体も有るのかという感想だけです。(やはり、活動実践して、現実の問題解決等を図った経験を PR して欲しいです。そういうレベルの人もいたのか、いないのかもわからなかったです。)
- 初回のみで把握できない。
- 興味深い。
- 協働の場
- きっかけ
- 自分の立ち位置をあらためて見直す場。

◆今後、くらしきパートナーシップ推進ひろばへ期待することがあれば教えてください。
概略

団体間・団体と行政間のつなぎ役、	3
中間支援の大切さを皆で	1
市民の要望を聞き出す	1
事例集の充実と更新	1
ネットワークづくりの拠点	1
場づくり(話し合いや交流など)	1
市民公益活動のモデルとして実践し、継続・拡大を	1
私たちの活動・団体にもっと興味を持って欲しい	1
ワークショップの研修	1
政策提言	1
岡山NPOセンターとは違う中間支援を	1

記述

- いろいろな団体をつなぐ役割を果たしてほしいなと思っています。いろいろと勉強させていただきました。本当にありがとうございました。
- ①倉敷市が運営する「市民活動センター」や他の「市民活動拠点」がもっと活性化するためにソフト面や活動人材交流・情報受発信・セミナー企画開催など今のスタッフ・メンバーの意思疎通を事務局内だけに限らずもっと深め、共有しつつ取り組んでいる事業の意義・中間支援の大切さ・知名度を皆で高めていくこと。
- 市民の要望を聞き出し、事例集の充実と、定期的に(2年周期)最新版への更新が必要に思います。
- 活動団体への市民の理解はまだ十分に得られていないと感じますし、行政を見方に付けるほどには成長出来ていない団体も多いと思われます。そうした団体間および行政と団体間の繋ぎ役としての役割を担っていただける事を期待したいと思います。ネットワークづくりの拠点になって欲しいですね。
- ・しっかりつないでほしいし、場を作って欲しい。
- まっとうな市民活動団体のモデルとして、波及効果と質の高い市民公益活動を実践していただけたらうれしいです。期待しています。
- また、市民活動についての話し合いの場を企画して戴ければ有難いです。
- 倉敷市で唯一のボランティア連合体に、もう少し興味を持って下さい。活動実績 10 年間以上のベテランが沢山います。これらの人の情報から、まず、自分たちで活動してみる、感動を得る。それから、皆様に指導していくのが順番ではないでしょうか。活動資金を得るにはとか、活動場所の確保とか、行政との連携とかには、まったく不足は有りません。まして、活動時間が無いとか、子

守してくれないかとか自分の生活で手一杯な人にはボラ活動は無理です。市民活動あるいは自分の権益活動は、必要に応じて活動されたら良いのですが、人様の為でしたら、厳しいのではと思います。辛口でごめんなさい。

- 今回は日程上参加できませんでしたが、ボランティア活動団体の交流の場ができればと思います。
- 活動を継続・拡大していただきたいと思います。
- ワークショップのリーダーシップがとてもよかったです。他のNPO団体やボランティア団体の代表者にワークショップの仕方研修などを実施しながら、テーマにそって議論し、提言していくとよいでしょう。
- 市政に提言していける活動を期待しています。
- 今後ともよろしくおねがいいたします。
- NPOセンターとは違う、中間支援が一緒にできればいいですね。